

【大宮区南銀座内のぼったくり事件】

～「ぼったくり被害110番」活動の対応事件（前編）～



1 「ぼったくり被害110番」の紹介

埼玉県内では、近年、大宮南銀座等の繁華街で悪質な客引きが横行し、ぼったくり被害に関する相談が多数報告されています。そこで、平成30年5月18日から、埼玉弁護士会民事介入暴力対策委員会の弁護士が、大宮駅東口の大宮南銀座（通称「ナンギン」）を埼玉県警察の協力を得て不定期に「ぼったくり110番」として巡回と被害電話相談を行っています。

本号を前編として、相談事件と「ぼったくり110番」設立について私から、8月号を後編として、ぼったくり被害の訴訟事件の顛末について、吉場弁護士からご報告します。

なお、相談者の方の快諾を得て、実際に取り扱った事件を紹介いたします。

2 相談事件の発生

繁華街でのぼったくり被害は昔から存在するようです。平成26年頃から新宿歌舞伎町でぼったくり被害が多発したため、翌27年から東京弁護士会の民事介入暴力対策特別委員会の弁護士有志が、電話窓口の設置、歌舞伎町内の巡回活動を始めました。担当弁護士による平成29年11月の報告によれば、歌舞伎町でのぼったくり被害は減少したものの、一方でぼったくりノウハウを蓄積した客引きが、歌舞伎町での厳しい取締りを避け、歌舞伎町以外での繁華街にて暗躍しているのではないかと指摘もありました。そのような状況で私が平成29年12月に初めて大宮南銀座でのぼったくり事件の相談対応を行うことになったのです。

20代男性の相談者A氏は大学同期の男性4人と共に客引きに案内されたキャバクラでぼったくり被害に遭いました。その日は居酒屋での一次会の後、南銀座のメイン通りで客引きにキャバクラを案内され、退店後に待ち構えていた同じ客引きの案内で、被害に遭ったキャバクラに入店することになりました。A氏ら5人が飲んだ有料ドリンクは数万円のシャンパン1本のみ（あとはセット料金に含まれるフリードリンク）、接客してくれた女性キャストが飲んだ有料ドリンクは合計で20杯程度でした。ところが退店時に店側は68万0400円を請求してきたのです。注文伝票には、1セット40分及び延長30分の70分の滞在時間中に、A氏ら及び女性キャストが1杯2000円の有料ドリンクを220杯も注文したようになっていました。A氏は全く身に覚えのない請求に驚いてクレームを入れると、強面の男性店員が現れ、強引に支払いを求めてきました。A氏は店員と共に最寄りの交番に行きましたが、A氏と店員の話合いは平行線を辿ります。

A氏は深夜12時から朝6時まで手当たり次第に弁護士事務所に電話をかけ続け、ようやく私の弁護士事務所に行き当たります。

現場に到着した私は、依頼者から話を聞き、一時離席していた強面の店員を呼び出しました。すると、今度は強面の店員に代わって店舗責任者を名乗る男性が現れました。私は「A氏が考える適正な

金額15万円を支払って解決するか、店側がこれに応じないなら1円も支払わないので裁判所に訴えてほしい」と、店舗責任者に伝えました。店舗責任者は、当初こそ請求の正当性を強弁していましたが、私に譲歩の意向がないことを理解すると、誰かと電話で相談し、サービス料と消費税を加算した18万6000円との対案を示してきました。A氏は店舗責任者の対案に応諾するとのことでしたので、その場で全額支払って解決となりました。店舗責任者は、少し離れた距離にいたA氏に聞こえるように「二度とナンギンに来るんじゃねえぞ」と捨て台詞を吐いてその場を立ち去りました。

ぼったくり店退店から解決まで約8時間かかりました。A氏は疲れ切った様子を見せながらも、「払った方が楽になれると何度も思ったが、諦めずに弁護士に相談できてよかった。」と胸を撫で下ろしていました。A氏の不当な要求には応じないという決意が納得のいく解決に繋がった事案でした。

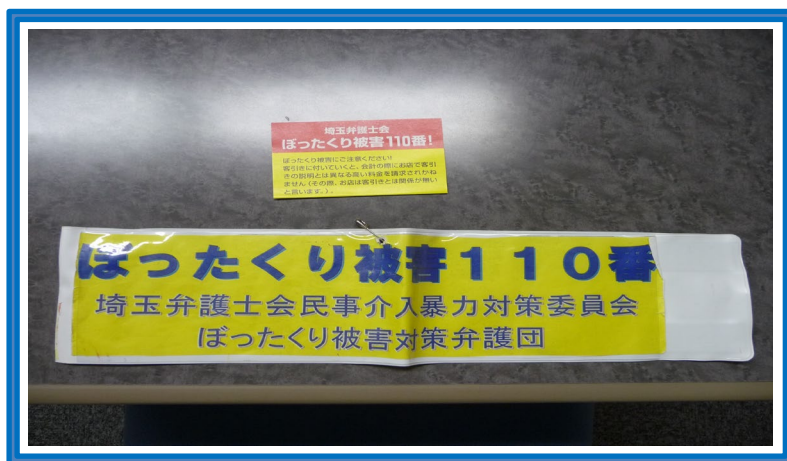
3 「ぼったくり被害110番」の設立

さて、上記のぼったくり被害は、歌舞伎町での手口そのものでした。交番の警察官から、ぼったくりの被害相談が増えているとの情報も得ました。

そこで、埼玉弁護士会民事介入暴力対策委員会にて、大宮南銀座を対象として「ぼったくり被害110番」を設立することとなりました。埼玉県警察から全面的な協力をいただき、全国的にも珍しく、弁護士と警察が連携しての巡回活動を行うことになりました。この巡回活動と被害電話相談から成る「ぼったくり被害110番」は平成30年5月に設立しました。マスコミにも取り上げられ、電話相談には多くの相談が寄せられました。

寄せられた被害相談の共通項は、客引きに案内されていることです。ぼったくりを行う店舗は、全ての客に対してぼったくりを行っているわけではありません。狙いを定めた客からぼったくろうとしますが、その他大勢の客には通常料金で対応しています。客引きに案内されてぼったくり被害に遭うことが多いのは一見客だからです。悪質な客引きには絶対についていかないでください。

後編の8月号では被害電話相談に寄せられた相談の中で、高額かつ悪質な被害に遭い、訴訟事件として店舗に損害賠償を求め、全面勝訴判決を得るに至った事件を吉場弁護士からご報告します。



寄稿者 さいたま市南浦和1-16-9フォーラム南浦和7階 南浦和法律事務所

TEL : 048-866-9708 FAX : 048-866-9709

埼玉弁護士会所属 民事介入暴力対策委員会委員

弁護士 江口 裕樹

この原稿は、公益財団法人埼玉県暴力追放・薬物乱用防止センターが賛助会員に配信しているメールマガジン「埼玉県暴追センター通信No.148」から編集したものです。